

NO 14	分譲マンション事業における「省CO2サステナブルモデル」の提案	株式会社大京 大阪支店		
提案概要	地域の風土を考慮した建物緑化やパッシブデザイン、次世代基準の断熱性能や太陽光発電等によるエネルギーデザイン、エネルギーの見える化による省CO2意識の向上により、LCCO2全般においての省CO2を目指す。居住者や市民に対して省CO2意識の向上を促し、これを牽引役に他のエリア・プロジェクトへの展開を目指す。			
事業概要	部門	新築	建物種別	住宅(共同住宅)
	建物名称	(仮称)LM西宮苦楽園計画	所在地	兵庫県西宮市
	用途	共同住宅	延床面積	4,478 m ²
	設計者	株式会社日建ハウジングシステム	施工者	未定
	事業期間	平成22年度～平成23年度		

概評	通風、日除け等のパッシブ対策、太陽光発電等のアクティブ対策、Webを活用した見える化やポイント制度など、実用性の高い省CO2技術をバランス良く導入しており、普及・波及効果が期待できる。夏場に吹く地域特有の風に配慮するとともに、敷地の適切な温熱環境の確保に向けた取り組みを行っている点も評価できる。
----	--

参考図

緑と水のカスタマイズ
バルコニー・アルコーブにグリーンカーテン用フックを設けることで居住者の利用に応じたカスタマイズが可能。可動日除けルーバーとの組合せで立体的な緑の空間を生み出す。ミスト散布設備のオプションも用意。

EV充電ステーション
電気自動車対応充電ステーションを5台分設置し、将来的なEV普及への対応を図る。

次世代省エネ基準の断熱性能
住戸外壁には、次世代省エネ基準の断熱性能を満足する断熱材を施工。開口部はlow-Eガラスで熱負荷を低減。

太陽光発電システム
太陽光発電設備（9.72kw相当）を導入し、共用部の電力として晴天の多い気象条件を最大限利用する。

Fox理論による照明計画とLED化
Fox理論による効率的な照明計画と共用部・専有部照明のLED化により消費電力の削減を図る。

パッシブウィンドー
可動ルーバー面格子、開口制限ストッパー付きサッシ、換気用バスタクトにより、防犯を考慮しながら風を取り込む。バルコニー面には可動日除けルーバーを設置し、居住者の利用に応じた日除け対策が可能となる。

建物緑化・保水ブロック・ミスト散布
積極的な建物緑化、保水機能を持ったブロックの敷設、牽越風向を利用したミスト散布による打ち水効果で、ヒートアイランド現象を防ぐ。

エネルギーの見える化
CO2排出量、ガス・電気・水の使用量をトータルで表示できる「エネルギーパス」の採用。ウェブでの省エネアドバイスやポイント発行等で、居住者の意識向上に寄与する。